

# 「政府統一Webサイト構築に向けたサービス基盤及び デザインシステム等の実証に関する調査業務」 の公告に係る説明会

---

2021年8月12日

内閣官房IT総合戦略室

## はじめに

---

本日は説明会へのご参加ありがとうございます。

- ・15:00-15:30 仕様書内容のご説明（IT室）
- ・15:30-16:00 質疑応答 ※最大16:30まで

### 【お願い】

- ・ご説明中は音声はミュート、ビデオはオフに設定をお願いします。
- ・ご質問いただく際は、はじめに社名とお名前をお知らせください。
- ・説明会は録画させていただきますのでご了承ください。

# 公告概要

---

- 案件名

政府統一Webサイト構築に向けたサービス基盤及びデザインシステム等の実証に関する調査業務

- 競争の方法

一般競争入札（総合評価落札方式）  
価格点70点+技術点140点=合計210点

- 今後のスケジュール

8月23日（月） 12時 技術等提案書等の提出期限  
8月24日（火） 17時 審査結果通知  
8月26日（木） 13時 入札及び開札

- 契約期間

2021年8月26日から2021年12月31日まで

# 本業務の背景・目的

現在、各府省では個別にWebサイトの整備・運用を行っているため、UI/UXに一貫性がなく、類似する内容が複数のWebサイトに散在している事例もある。そのため、サービス受益者である国民視点では、求める情報の検索容易性、情報内容自体の分かりやすさ、情報を利活用する際の利便性等の観点から課題が存在している。加えて、各府省のWebサイトに用いるシステム基盤やコンテンツ管理システム（以下「CMS」という。）は組織ごとに整備・運用されているため、コストや人的リソースの効率性の観点から課題が存在している状況にある。

このような課題に対して、**政府統一Webサイトの構築を通して、UI/UX改善及びシステム整備・運用の標準化・統一化**を行い、利用者中心の行政サービスの実現並びに行政運営の簡素化及び効率化の実現を目指す。

The image displays a collection of government website screenshots and a set of UI design elements. The screenshots include:

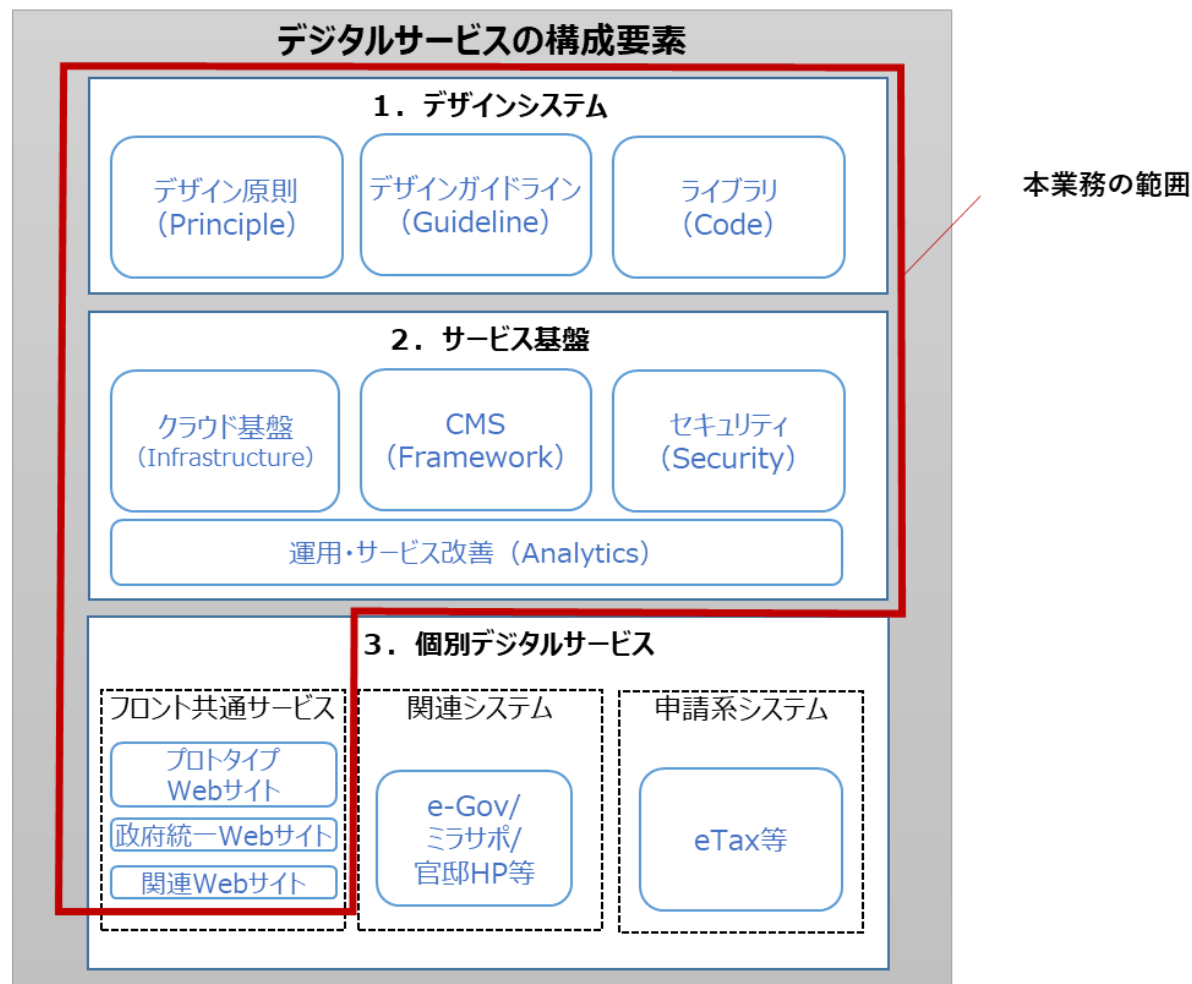
- Ministry of Economy, Trade and Industry (経済産業省)
- Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism (国土交通省)
- Ministry of Health, Labour and Welfare (厚生労働省)
- Ministry of Finance (総務省)
- Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (農林水産省)

The design elements include:

- アクセシビリティ (Accessibility)
- 地域を検索 (Search by region)
- 利用者登録はこちら (Register user here)
- 利用を申し込む (Apply for service)
- ログイン (Login)
- クリア (Clear)
- 入力画面へ (Go to input screen)
- この条件でさがす (Search with these conditions)
- 検索 (Search)
- 検索 (Search)
- 戻る (Back)
- 用語辞典 (Glossary)

# 本業務のスコープ

UI/UX改善及びシステム整備・運用の標準化・統一化に向け、様々なサービスが共通して参照・利用可能なデザインシステム及びサービス基盤の整備を実施する。次に、それらを個々のデジタルサービスに適用するとともに、適用により得られたフィードバックをデザインシステム等に反映することで、デジタルサービス全体を継続的に改善していくことを目指す。



# 本業務のスケジュールと成果物

## スケジュール

フェーズ	作業内容	2021年						2022年
		3月～7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月～
調査研究 フェーズ	デザインシステムの構築に係る調査及びガイドライン等の作成	→						
	サービス基盤の構築に係る調査及び要求事項等の整理	→						
	評価用Webサイトの構築・運用による検証	→						
	調査計画書の作成		→					
	サービス基盤に関する実証			→				
	デザインシステムに関する実証			→				
	評価用Webサイトの構築・運用による検証			→				
調査結果報告書の作成			→	▲	中間報告		▲	最終報告
システム開発 フェーズ	要件定義及び調達プロセス				→	要件定義	→	調達
	政府統一ウェブサイトの開発							→

先行調査事業の  
主な作業内容

本業務の範囲

## 成果物

No.	成果物名	想定量 (A4相当)	納入期限
1	調査計画書	5ページ	業務開始後1週間以内
2	調査報告書 (中間報告)	20ページ	2021年9月下旬
3	調査報告書 (最終報告)	40ページ	契約期間終了時まで

# 本業務の作業内容

1. 調査計画書の作成
2. サービス基盤に関する実証
  - クラウド基盤の実証
  - CMSの実証
  - コンテンツ運用及びサービス改善フローの作成
3. デザインシステムに関する実証
  - デザインライブラリの実証
  - デザインチームの実証
  - コンテンツのアクセシビリティ向上と改訂作業の効率化実証
  - 短縮URLサービスに関する海外事例調査
  - デジタル・ガバメント推進標準ガイドラインの改定案作成
  - 国民と行政機関との共創におけるコミュニティマネジメントに関する実証
4. 評価用Webサイトの構築・運用による検証
  - 先行調査事業で作成した評価用Webサイトの引継ぎ及び公開
    - デジタル庁Webサイトの作成・公開（ノーコードツール「STUDIO」利用）
  - 新評価用Webサイト作成
    - デジタル庁Webサイトの作成・公開（クラウド基盤+CMS利用）
    - 政府統一Webサイトの作成・公開（クラウド基盤+CMS利用）
5. 調査結果報告書の作成

4の評価用Webサイトの構築・運用を通じて、  
2,3の実証を行う関係性



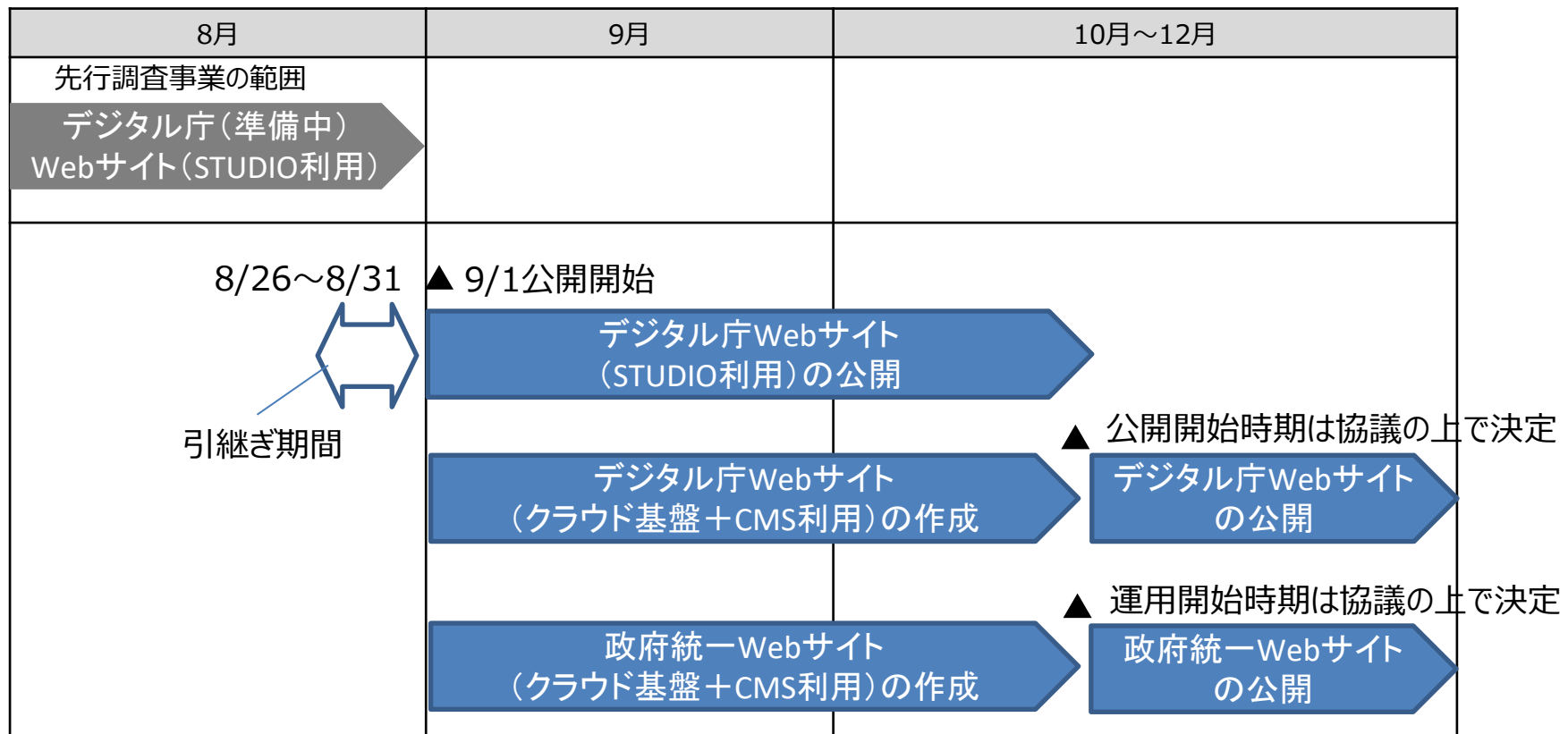
# 評価用Webサイトについて

## ・デジタル庁Webサイト

デジタル庁の組織や政策等に関する情報を発信するWebサイト。8月31日までは「デジタル庁（準備中）Webサイト」として先行調査事業の評価用Webサイトとして公開。本業務で引継ぎ、9月1日からは「デジタル庁Webサイト」として公開。

## ・政府統一Webサイト

各府省のWebサイトや、申請・手続き等に関するサービスへの総合的なポータル。本事業で作成・公開。





# 評価用Webサイトの引継ぎについて

評価用Webサイト（STUDIO利用）の引継ぎにおいては、以下を前提として提案内容をご検討ください。

- ・9月1日に「デジタル庁Webサイト」として公開が必要なページ（仕様書の下記赤枠）は、先行調査事業の範囲で作成済みのものを利用いただく想定です
- ・STUDIOプロジェクトのオーナー権限を先行調査事業の委託先から移管する方法をとります
- ・引継ぎ資料として、「ページ一覧」「コンテンツ運用フロー」「STUDIOの操作手順」をご提供します
- ・9月1日以降はSTUDIOでのコンテンツ追加を2週間に1回の頻度で実施予定です

仕様書12ページより抜粋

## （４）評価用Webサイトの構築・運用による検証

### ア 先行調査事業で作成した評価用Webサイトの引継ぎ及び公開

先行調査事業で作成した評価用Webサイト「デジタル庁（準備中）Webサイト」（<https://www.digital.go.jp>および<https://recruitment.digital.go.jp/>）の掲載コンテンツを引継ぎ、2021年9月1日より「デジタル庁Webサイト」として公開開始し、イで作成する評価用Webサイトの公開開始まで公開継続すること。

作成・公開環境には原則として既存Webサイトが採用しているノーコードツール「STUDIO」を用いること。**公開開始時点では以下のコンテンツを掲載すること。**公開開始後は、2週間に1回の頻度で主管課から提供するコンテンツを追加更新すること。

- ・デジタル庁（準備中）Webサイト（<https://www.digital.go.jp>及び<https://recruitment.digital.go.jp/>）に掲載している全コンテンツ
- ・政府CIOポータル（<https://cio.go.jp/>）、内閣府社会保障・税番号制度サイト（<https://www.cao.go.jp/bangouseido/>）、デジタル改革アイデアボックス（<https://ideabox.cio.go.jp/>）に掲載しているコンテンツのうち、主管課が指定する重要コンテンツ
- ・デジタル庁の施策やプロジェクトの取組内容紹介ページ、及び政策検討過程への国民参加を周知するページ

# クラウド基盤及びCMSの実証について

クラウド基盤及びCMSの実証においては、以下を前提として提案内容をご検討ください。

- ・クラウド基盤はISMAPクラウドサービスリスト ([https://www.ismap.go.jp/csm?id=cloud\\_service\\_list](https://www.ismap.go.jp/csm?id=cloud_service_list)) に掲載されているものを利用
- ・CMSはAPIベースのHeadless CMS (OSS) を用い、サーバサイドで静的ページを生成・公開する仕組みを想定
- ・クラウド基盤及びCMSの調達、設計、構築、テスト、運用、保守に係る作業・費用は受注者負担として見積・ご提案ください
- ・契約後、ご提案内容とデジタル庁での検討状況を踏まえて協議の上、本業務で採用するクラウド基盤やCMSを決定します。その際、ご提案内容との相違が生じたことでスケジュールや工数に影響が及んだ場合は、必要に応じてスケジュールの調整や契約内容の見直し等に対応させていただきます。

仕様書7ページより抜粋

## ア クラウド基盤の実証

- ・**クラウド基盤のアーキテクチャ、システム構成については主管課から指定するものを利用すること。**
- ・**実証に用いるクラウド環境は、原則として主管課から提供するものを利用すること。**ただし実証のために特殊なクラウド環境が必要な場合等、主管課から提供するものでは効率的・効果的な実証が困難な場合は、主管課との協議の上で使用するクラウドサービスを決定すること。
- ・主管課から提供するクラウド基盤の利用に当たっては、主管課が定める利用ルール、運用方針に従うこと。また、利用開始前に実証期間におけるサーバリソース等の使用量の見積りを行い、主管課の承諾を得ること。

## イ CMSの実証

先行調査事業では政府統一Webサイトとして求められるCMS製品の基本要件を整理し、机上での製品比較を実施した。本調査事業では、その結果を基にしたCMSを含むアーキテクチャを評価用Webサイトに適用し（評価用Webサイトは（4）を参照）、基本要件に対する機能の充足性・有効性・効率性等を実証し、課題を洗い出すとともに、各府省Webサイトの統合を見据えた仕様の精査を実施すること。

実証に当たっては以下の事項に留意すること。

- ・**実証に用いるCMS製品（1製品）については、原則として主管課から指定し提供するものを利用すること。**